

人権だより

2016 年 3 月 24 日

新野高校人権教育課

教室の窓から見える桜が花開き、春がやってきていることを知らせてくれています。さまざまな想いを胸に卒業された 3 年次生の姿に、1 年後 2 年後の自分の姿を重ね合わせた人も多かったのではないのでしょうか。心身ともにリフレッシュし、笑顔で新学期が迎えられよう、有意義な春休みを過ごしてください。今回は、1 年次生の人権委員が中心となり、一年間の活動を振り返ります。

～1 年次生人権委員に聞きました～

Q. 一番印象に残っている人権教育活動は？

A. 印象に残っているのは、身元調査お断りワッペン運動です。知らない人と話すのが苦手で、ちゃんと渡せるか不安だったけど、「ありがとう」と言って受け取ってもらったとき、とてもうれしく思いました。

A. 特に東日本大震災の様子 DVD を視聴して、津波の怖さが伝わってきました。

A. 落書き消し活動の時に、回数を重ねるごとに落書きが減ってきていて、少し嬉しかった。

A. 校内意見発表会。発表した人の意見がよくわかった。

A. 私は校内意見発表会が一番印象に残っています。一人一人それぞれの考えがあり、今まで自分が持っていた考えとは違った考え方も知ることができたので良かったと思います。



Q. さまざまな人権問題について、日頃感じていることは？

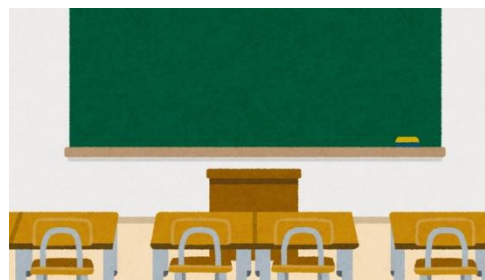
A. 落書き消しなど、中学校の時の人権委員会ではしなかったから、高校でもこの委員をしてよかったと思いました。

A. 落書き消しは自分でもいい仕事だと思いました。

A. いろんな活動をして、考えを多く持てるようになった。

A. 落書き消しは、ほとんど落書きがなく、「みんな、かしこいな」と思いました。

A. 私は、日頃、人の気持ちを理解できていたつもりですが、この活動を通して、改めて考えていこうと思いました。



できていますか？

『自分や他の人を大切にし、支え合う、仲間づくり』

あなたは自分や他の人を大切にできていますか？

人は一人ひとりみんな違います。個性を持っています。お互いの違いを、個性を認め合うことができたとき、思いやりの心が生まれ、自分や他の人の人権を大切にすることにつながります。

「自分の行動によって、相手がどんな気持ちになるかな？」

「自分の気持ちをどう伝えたらいいのかな？」

「相手はどんな気持ちなのかな？」

一人ひとりが、「お互いを大切にする気持ち」を持って、一緒に成長していきましょう。